

REPORT 中学校授業の撮影進行と、NHKによるその様子の取材がありました

6月から附属中学校における授業収録が始まり、10月までに美術、社会、体育、音楽、道徳、国語、保健、技術、理科、家庭（実施順）の収録が行われています。収録された授業実践は、新しい時代に対応した授業づくりや実践の資料として活用されるよう、分析・映像化され、その成果がOECDと共有されます。

なお、9月29日には、NHKにより本学附属での授業実践と本機構による収録の様子が取材されました。取材対象の授業実践は附属世田谷中学校における中学1年生の理科「いろいろな物質とその性質」（高田太樹教諭）であり、授業実践と収録の様子のほか、大学教員へのインタビューも行われました。



NHKによる取材の様子

REPORT 部門2による自己評価方法の検討が進んでいます

本機構第2部門の「総合的な学習の時間」におけるコンピテンシーの育成・評価法の開発の研究グループでは、児童の自己評価能力を測定するための項目と指導の改善に役立つルーブリックを作成しています。

まず、本学附属大泉小学校の教員22名を対象に、普段、児童らに学習活動の振り返りをさせる際に大事にしていることについて、5つの箇条書きにより回答を求めました。回答結果について、3名の大学教員と2名の研究員で、KJ法による項目精選を行ったところ、児童の学習活動の振り返り能力に係る教師のもつ目標は、「目標の（再）設定」（Plan）、「理解の確認」（Do）、「自分と友だちの考えの比較」（Check）、「考えの変化」（Action）の4つの観点と3つの学年ブロック（低、中、高学年）の枠組みに整理することができました。次に、児童の振り返りの記述についてPYPの枠組みにおける基本概念に関する自己評価ルーブリックを作成しました。

これらの結果は、本学附属大泉小学校の校内研究会において、フィードバックした他、様々な学会で報告しました。



本機構教員が附属大泉小学校での校内研究会に参加している様子

NEWS OECDシニアアナリストの田熊美保氏と会合を行いました

2016.8.10

8月10日、OECD教育局シニア政策アナリストの田熊美保氏と文化庁会議室にて会合を行いました。田熊氏は、OECDのEducation2030を主導するスタッフで、本学活動について多くの対話を重ねてきている方です。会合では、2月の会合から当日時点までの具体的な成果（主として、授業のビデオ撮影とその分析からの知見、授業の自己評価質問紙構成）と、今後の指導モデル（teaching approaches）のまとめ方について多数の意見を交換しました。特に、授業内でのスキルと態度/価値の指導実践について高い評価をいただき、現在の活動の方向を維持・推進していくことを確認しました。



田熊美保氏との会合の様子

NEWS 東京大学白水始教授と文部科学省大杉住子室長に活動報告を行いました

2016.7.8

7月8日、午前は文部科学省・初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長大杉住子氏に、午後は東京大学の白水始教授に、7月までの活動成果を報告しました。大杉室長は次期学習指導要領の策定を推進する立場にあり、プロジェクトのスタート時からNGEの活動内容についてアドバイスをいただいております。白水教授は、OECD Edu2030のExpertとISNの立場から情報交換を行っております。報告内容について、大杉室長からは、授業の中で資質・能力の育成にどのように働きかけるのか、メタ認知力と教科との関係などについて意見をいただき、白水教授からは、開発中の動画配信システムの面白さと可能性について評価いただくとともに、システムの双方向性について示唆をいただきました。

NEWS 機構メンバーによる翻訳書を出版しました

2016.9.20

9月20日、『21世紀の学習者と教育の4つの次元：知識、スキル、人間性、そしてメタ学習』を北大路書房より発行しました (ISBN978-4-7628-2944-4)。次世代教育研究推進機構 (NGE) のメンバーによる訳書で、関口貴裕准教授 (教育心理)・細川太輔准教授 (国語教育) が編訳を担当しています。著者は、Fadel, Bialik, Trillingの3氏で、Fadel氏は21世紀型スキルの構築と提案に主導的な役割を果たしている研究者であり、本プロジェクトの外部評価員も務めています。本書では、知識・スキル・人間性・メタ学習の4つの次元の概念を詳細に解説しており、OECDの次期コンピテンシーの考え方、文部科学省の新学習指導要領の方向性、そして、本プロジェクトの取り組みを理解する上で最適な書です。



NEWS 特別活動学会のシンポジウムでNGEの研究を報告しました

2016.8.27

8月27日に、日本特別活動学会第25回大会が東京学芸大学にて開催されました (大会委員長は機構メンバーで学校教育の林尚示准教授)。テーマは『『21世紀コンピテンシー』の基盤となる特別活動の創造』で、全体シンポジウムでは、プロジェクトリーダーの岸特命教授が「21世紀コンピテンシーの育成に向けた取り組み」の演題で報告を行いました。そこでは、機構の取り組みとこれまでの成果について、そして、機構で収集したデータの中から特別活動に関連する内容を紹介しました。報告に対して、授業を通じたスキル、態度／価値の育成可能性などについて質問がありました。



NEWS ISNの報告会にてNGEの取組を発表しました

2016.8.11-12

8月11, 12日, 国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、OECD日本イノベーション教育ネットワーク (ISN) 主催による第4回教員研修会議が開催されました。本機構からは、柄本健太郎講師, 宮澤芳光助教, 鄭谷心助教が参加し、構築中の21世紀型指導モデルや、研修・養成のための動画配信システム等、プロジェクトの取り組みに関して報告を行いました。研修会ではISNの公式クラスター等、多くの参加者ととも、活動報告、先進的な事例の共有、OECD関係者を招いたパネルディスカッション、研究会議に参画することで、研究活動のさらなる促進と相互の連携を進めることができました。



NEWS 来年3月にシンポジウムを開催します

「次世代教育研究推進機構 (NGE) シンポジウム」を、2017年3月11日 (土) 13:00 ~ 17:00に、東京国際フォーラム (有楽町) にて開催致します。内容は、鈴木寛文部科学大臣補佐官 (東京大学教授・ISN代表) (予定)、OECDのEducation2030担当者による講演、これまでの機構における成果の中間報告と、指定討論者による報告内容に対するDiscussionなどを予定しております。入場は無料で、Webサイト (準備中) により参加申し込みを受け付けます。ぜひご参加ください。

INFORMATION

1 日本教育大学協会研究集会

日程：10月15日 (土) 主催：富山大学
● NGEでは3件の発表を行いました。

2 OECD Informal Working Group 会合

日程：11月9 (土), 10日 (日) 会場：北京
主催：OECD
● NGEの取り組みについての発表を行う予定です。

3 CRET/Benesse シンポジウム 2016.

これからの日本の教育のあり方～ポスト 2030 を見据えて～
日程：12月15日 (木) 会場：福武ホール (東京大学本郷キャンパス内)
主催：ベネッセ
● PISA2015の結果を受けた討論と、PISA2018の見通しなどの議論を行います。
● プロジェクトリーダーの岸特命教授がNGEとの関連を紹介する予定です。

4 次世代教育研究推進機構 (NGE) シンポジウム

日程：3月11日 (土)
会場：東京国際フォーラム (有楽町)



NGE通信 vol.03

2016年10月17日発行
編集／発行元：東京学芸大学 次世代教育研究推進機構
東京都小金井市貫井北町 4-1-1 教職大学院棟 1F

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai/>

● 記事については、右のリンクまたは下記の連絡先へお問い合わせ下さい。
Mail: jisedai@u-gakugei.ac.jp Tel: 042-329-7924

